



世界の日の出として

令和 8 年 2 月 9 日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

世界へ新たな未来を提案することは、異なる未来を提案することである。今日世界がその 2 分化において、豊かさと貧しさを有することへ、全ての人々が参加する新たな未来の提案は、人々の合意という新たな現実を可能とできるものである。

これらは西洋の合理主義と競争原理が支配する世界の現実へ、東洋という融和の思想における新たな未来の提案は、今日の世界の現実に対して新たな世界を提案できるものである。

世界の閉そく性と、インフレにおける生活の困窮は世界の現実であり、西洋という限界は今日大衆の疑念や不満が現実に対して存在するものである。

これら世界の現実に対して日の出の国とその王は、新たな世界の提案を求めるることは、それら閉そく性に対して新たな希望という世界を提案できると考える。

これら世界との相違性は、西洋というスタンダードに対して、独自近代化や文化社会を有する日本が、自らの世界との関係とともに、自己の相違するアイデンティティにおいて、新しい世界の提案を行うことは、西洋という現実と相違する多数の国家や西洋という現実から新たな未来への転換を求めるなど、その未来という現実を提案できると考えるためである。

これら日本の特性において、自己の考査を求めるとき、それらは決して西洋や他国に劣るものでないはずである。

これら独自進化性は、相違性とともに、世界において今日新しい日本の魅力を共有するものであり、それら現実が世界において許容できるものであることを証明するものです。

それら視点において、政治が自己の文化的背景を卑下することでなく、対等な対話を求めるることは、世界におけるそれら相違性が新たな未来の実現を可能とできることなのである。

これら競争といたい率という西洋のアイデンティティに対して、融和という日本の特性とともに未来を求めるることは、戦争放棄の国はとともに、世界を変えられるかもしれないである。